

令和8年（2026年）度事業評価シート

令和 8 年 6 月 30 日

評価対象事業	教育	-	12	学校安全対策事業				☐ 法定受託事務	
所管課	学校施設課				評価者	学校施設課長 鈴木 康之			
一般	会計	款	55	項	5	目	10		
総合計画上の位置付け	分野名	学校教育			施策の方針名		学校施設の管理・整備		

1 事業の目的

対象	学校施設等	意図	良好な学校施設の管理を行うため。
効果	児童等の安全確保及び学校施設に係る適切な財産管理等を行う。		

2 事業工程と運営資源配分

☐ 単年度事業 ☒ 終期のある事業 （事業終了予定年度： 8 年度） ☒ 単年度繰返

	令和7年度	令和8年度	令和9年度（未定）
事業工程	小学校警備、学校機械警備、第一中学校通学路法面整備工事	小学校警備、学校機械警備、第一中学校通学路法面整備工事	小学校警備、学校機械警備
予算額（千円）	251,589	112,501	
国県支出金			
地方債			
その他			
一般財源	251,589	112,501	0
当初人員配置数	0.4	0.7	0.0
人件費（千円）	3,415	5,444	0
事業実績	小学校警備、学校機械警備、第一中学校通学路法面整備工事		
決算額（千円）	187,618		
国県支出金			
地方債			
その他			
一般財源	187,618	0	0
人員配置実績数	0.5	0.0	0.0
人件費（千円）	3,451	0	0

3 活動結果（アウトプット）指標

No	活動結果（アウトプット）指標		単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9
	指標名	小学校警備業務の実施校	校	16	⇒	16		
活1	実績につながる活動	小学校全校へ警備員を配置した				39,600		
活2	指標名	機械警備業務の実施校	校	26	⇒	26		
	実績につながる活動	小中学校全校の機械警備及び防犯カメラの管理を行った				14,572		

活動結果指標の実績に影響を与えた外部要因	・活動結果指標（アウトプット）の実績に影響する外部要因はなかった。
本事業実施に伴う活動結果指標の達成状況に対する評価	・小学校の警備業務を委託し、児童等の安全を確保することができた。 ・学校施設の機械警備業務及び防犯カメラ設置・管理業を委託し、夜間等における施設の安全を確保することができた。

4 成果（活動による直接アウトカム）指標

No	成果（アウトカム）指標の内容	単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9	関連する活動結果指標No （最大3つ）
成1	不審者の侵入等による犯罪件数	件	0	⇒	0			

成果指標の実績に影響を与えた外部要因	実績に影響する外部要因はなかった。
本事業実施に伴う成果指標の達成状況に対する評価	学校施設への機械警備業務や小学校の警備員業務により犯罪件数の目標値を達成した。
活動結果指標と成果指標結果の比較分析（寄与度）	学校施設への機械警備業務や小学校の警備員業務により犯罪件数の目標値を達成した。

5 評価結果

評価	妥当性	事業に対するニーズ	☐ 増えている	☒ 変わらない	☐ 減少している
		事業実施の主体となるべき者	☒ 市	☐ 国・県	☐ 民間事業者 ☐ なし
	有効性	事業の成果	☒ 十分に出ている	☐ 概ね出ている	☐ 出ていない
	効率性	事業費削減余地	☐ ある	☒ なし	
	公平性	関連・類似事業との統合	☐ できる	☒ できない	
方向性		評価実施年度の方向性	⇒ 評価実施翌年度以降の方向性		
	事業内容の方向性	☒ 事業内容は現状通り ☐ 事業内容は見直し済 ☐ 事業を休止又は廃止済 ☐ 他事業と統合済	⇒	☒ ① 事業内容は現状通りとする ☐ ② 事業内容は見直す ☐ ③ 事業は休止又は廃止する ☐ ④ 他事業と統合し、本事業は廃止する	→ ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他 事業へ統合
	予算規模の方向性	☒ 予算規模は現状維持 ☐ 予算規模は拡大済 ☐ 予算規模を縮小済	⇒	☒ ① 予算規模は現状維持とする ☐ ② 予算規模は拡大する ☐ ③ 予算規模は縮小する	

今後の取組方針（見直し方針）	課題への対応		結果	具体的な内容	
	前年度の新たな課題への対応結果		前年度は新たな課題なし		
	活動結果指標や成果指標の達成状況に影響を与える新たな課題		新たに認識された課題はなかった		
	新たな課題に対応するための新規事業の必要性		新たに認識された課題はなかったため検討なし		
	総評	県内の他市町村に先駆けて実施した小学校への警備員配置は、犯罪抑止効果の面で有効な手段であることから、保護者及び教職員から高い評価を得ており、事業を継続することで学校の児童及び教職員の安全確保を図っている。			上位施策への寄与度
					A

○ 他市比較・ベンチマーク（県内外自治体や民間団体との比較値）

比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方		既に全小中学校への機械警備を導入および全小学校への警備員配置を完了しており、この安全水準を維持していく予定であるため、他市比較はなじまない。							